

米国の緊急利下げ

ポイント① 臨時FOMCで利下げを決定

3月3日、G7（主要7カ国）の財務相・中央銀行総裁は緊急電話会議を開き、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う景気下振れリスクに対応するため「あらゆる適切な政策手段を用いる」とする共同声明を発表しました。

それを受けて米国では臨時FOMC（米連邦公開市場委員会）が開かれ、政策金利であるFF（フェデラルファンド）金利の誘導目標を0.5%引き下げて1.00～1.25%としました。景気リスクが拭えなければ、追加利下げに踏み切る姿勢でもあるようです。

ポイント② 利下げ後に米国株が下落

米株式市場は利下げ発表直後には上昇しましたが、まもなく下落に転じ、ダウ工業株30種平均は終値では前日比2.9%下落しました。

この背景には、前日に金融緩和期待の高まりから急騰したことの反動や、大幅利下げで将来の利下げ余地が縮小したという不安感があると考えられます。

より根本的には、金融緩和では目に見えない新たな疫病に対する人々の恐怖心を拭うことは難しいということを示唆しているようです。

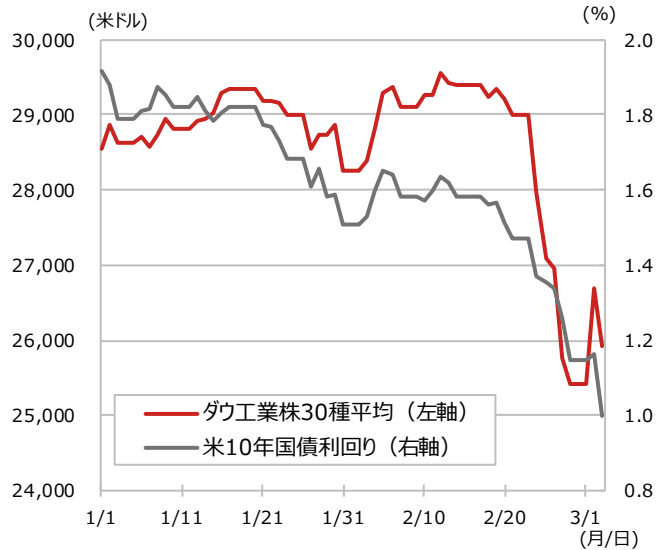
ポイント③ 治療法の確立を待つ

感染拡大にブレーキがかかってきた中国の動きを見ると、交通の遮断や全面的な休業・休校などの強硬な対策を取らない限り、世界的な感染の拡大を止めることは容易ではないと考えられます。

ただ、治療法が確立すれば、人々の恐怖心は薄れ、経済的影響も小さくなるでしょう。株式などのリスク資産への投資においては、過度に悲観的にならず、感染状況や治療法の動向に注目することが重要です。

図1：ダウ工業株30種平均と米国債券利回り

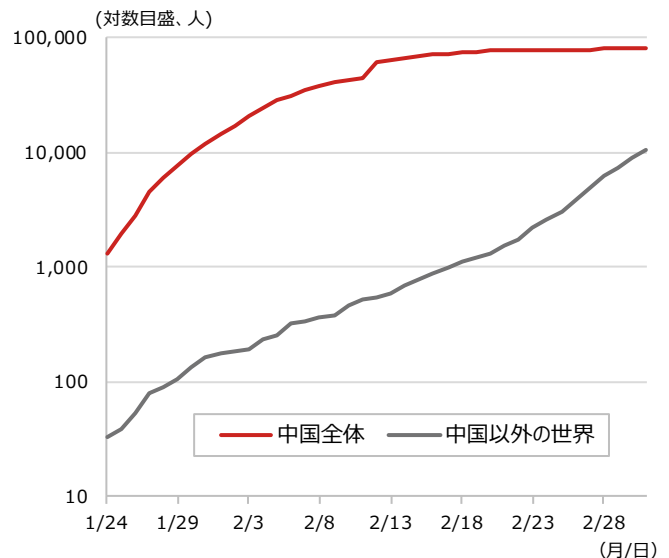
期間：2020年1月1日～3月3日、日次



(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

図2：中国と中国以外の新型コロナウイルス感染確認者数

期間：2020年1月24日～3月2日、日次



(出所) ジョン・ホプキンス大学データより野村アセットマネジメント作成

重要
イベント

3月6日
3月12日

米雇用統計 (2月)
ECB (欧州中央銀行)
理事会

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。